

平成29年度
第1回百合丘高等学校学校運営協議会 記録

平成29年5月31日(水) 応接室
司会：富士川副校長
記録：堀込 教諭

1 開会（副校長より）

- ・本日、本会議には協議員8名のうち5名が出席しているので、規則の8条により、本日の会議が成立することを申し上げます。

2 校長挨拶

- ・本日の会議は基本方針を認めていただくことが目的である。
- ・今年度の本校の学校教育計画についても承認していただきたいと考えている。

3 出席者紹介と欠席者の確認

- ・自己紹介 本校教員→同窓会長 田口様→PTA会長 各務様→川崎市立長沢小学校長 米田先生→総合教育センター教育指導専門員 林先生
- ・欠席者の確認 南生田中学校長 網屋先生、長沢自治会長 末吉様、専修大学文学部教授 山口先生、以上3名の方が欠席。

4 学校からの説明

(1) 百合丘高校コミュニティースクールについて（副校長より）

ア 目的について

- ・本会議が積極的にコミュニティースクールに指定された本校の学校運営に関わることになる。
- ・地域協同による学校運営の推進と教育活動の充実を図ること。
- ・生徒を積極的に地域の活動に参加させること。
- ・本校の学校運営に対する意見を頂戴する。
- ・教職員の任用に関しての意見を頂戴する。
- ・地域連携部会についての説明。
- ・以上6点についてが、コミュニティースクールの目的である。
- ・コミュニティースクールの組織図についての説明。(別紙)
- ・本会議においての基本方針の承認。
- ・コミュニティースクールが学校評価部会と地域連携部会から成り立つことと、その説明。

イ 組織について

- ・学校評価部会と地域連携部会の説明。(別紙3ページ参照)
- ・学校運営協議会の活動を年5回とする。
- ・構成員は学識経験者、地域の代表者、地域の教育関係者、PTA、同窓会長で構成する。
- ・部会の目標は学校運営の評価である。
- ・今までの学校評議会制度の延長と考えられるが、さらに積極的に教育活動の改善に向けて関わっていく。
- ・地域連携部会は、やまゆり観賞会、長沢ニコニコハーモニーに参加することで地域との連携を行っていく。今後はさらに発信できるものを検討する。
- ・評価部会は、学校運営が適切に行われたかを評価する。
- ・地域連携部会は年2回の開催を予定し、地域連携活動の活性化をはかる。
- ・役割分担は別紙4ページに記載の通り。
- ・担当者は別紙4ページに記載してある通り。
- ・地域連携部会にPTA会長を追加する。

ウ 年間計画について

- ・第1回は本日5月30日。基本方針の承認。
- ・第2回は7月に予定。やまゆり観賞会に向けて計画中である。
- ・第3回は文化祭のある9月に予定している。教育活動の視察をしていただく。
- ・第4回は長沢ニコニコハーモニーのある12月に予定している。授業見学をした後、新たな提言を頂戴する。
- ・第5回は3月に課題研究発表会を予定している。その際、学校評価の改善の検討をしていただく。

(2) 会長・副会長の選出

副校長より

- ・会長には南生田中学校校長の網谷先生、副会長には永沢自治会長の末吉様の両名にお願いする。(内諾済み)

(3) 平成29年度 学校運営方針について

ア 学校目標・具体的手立てについて(教頭・総括教諭より)

教頭より

- ・4年間の計画を県教委に提出済みである。この計画に従って学校運営を行う。

- ・生徒による授業評価を活用する。
- ・部活動加入率の増加を目標とする。
- ・共通テストを 80 パーセント以上で実施させる。
- ・下校時間を遵守させる。
- ・安全指導の数値化（事故の減少、指導の回数）に取り組む。

学習支援グループより

- ・授業評価を目標、研修に活用する。
- ・共通テストについては、今年度も共通テストの実施のパーセンテージを上げていく。
- ・成績処理業務における事故防止に努める。

進路支援グループより

- ・組織的に進路指導を充実させる。
- ・はじめから推薦試験を希望する生徒がいるのが現状であるが、一般受験での合格を目指したい。
- ・スタディサポートで生徒の家庭学習状況も含め、意欲を引き出す。

活動支援グループより

- ・部活動の情報発信を行う。
- ・地域から愛され、親しまれる部活動を目指す。
- ・現在の部活動加入率は 64 パーセントであるので、70 パーセントの加入を目指す。
- ・下校時間を守らせる。
- ・やまゆり観賞会では、吹奏楽部の演奏、茶道部のお手前、料理部のお菓子の提供などによる参加と、生徒会役員による案内を行う。

渉外グループより

- ・適切な情報を提供するためにホームページの充実に力を入れている。
- ・入試選抜について、事故が起こらない環境づくりに取り組む。

生活支援グループより

- ・交通事故が多いので、自転車事故の件数削減を目標にしている。
- ・服装・頭髪などの身だしなみ指導を行っている。
- ・下校時、昼休みと放課後、各学年で立ち番を行っている。
- ・精神的に弱い生徒に対しての支援を充実させていく。

管理運営グループより

- ・地域との協働について改善していく。
- ・やまゆり観賞会やPTAとの協働を充実させていく。
- ・災害に備えて地域住民避難など、実践に即した防災訓練を考えている。

イ 校内組織について(副校長より)

- ・学校運営を機能的に組織的に取り組めるように企画会議で話し合い、職員会議で提案する形をとっている。
- ・各グループの業務は、機能的に生徒育成に取り組める組織になっている。

ウ 教育課程について(担当総括教諭)

- ・教育課程については別紙8ページ・9ページに掲載してある通りである。
- ・30年度は共通科目を見直す。

エ 予算編成について(副校長より)

- ・10ページ以降に予算について掲載した。
- ・百合高50周年に向けて準備をしている。

5 平成29年度学校運営方針への質疑・ご意見および承認

各務(P T A会長)様より

- ・田園調布学園大学より本校と協働して活動していきたいとの申し出があった。
- ・長沢商店街の若手の皆さんより本校と協働して行事等を盛り上げたいとの申し出があった。
- ・長沢ニコニコハーモニーを盛り上げたいと考えている。

米田(長沢小学校長)様より

- ・共通テストはどうして行うのか？

(回答) 学校内で問題を統一することで同じ条件で実力をはかることができる。

- ・下校時間について、小学生の場合は児童とよく話をするが、高校はどうか？

(回答) 部活動の自手練習を見直す時期にきている。生徒や保護者と話しながら下校時間を守らせるよう指導している。

林(神奈川県立総合教育センター教育指導専門員)様より

- ・大学進学率について、6割という数字の根拠は？また、数字は4大進学者だけなのか、

それとも短大合格者や推薦合格者を含めているか。もし6割だというとそれほど危惧するほどのものなのか？

(回答) 数字は一般受験だけではなく、大学受験全員がふくまれている。そのうちの半分が一般受験の生徒ということである。

・ ホームページにいじめ防止基本方針がアップされているのか？

(回答) 本校ホームページの、その他の項目に掲載している。

・ 今後に向けて、資料を事前に用意して、先生方の負担にならないような会議のやり方があればいいのではないか。

(回答) 検討します。

米田(長沢小学校長)様より

・ 今年度はぜひ百合高の授業を見学させていただきたい。

各務(P T A会長)様より

・ P T Aも変わらないといけないと思っている。

田口(同窓会会長)様より

・ インターハイの予算を使えるようがんばってもらいたい。

藤原校長

・ 会議の効率化は大きな課題である。 今後ともよろしく願いしたい。